

ダイワ高格付日本企業外債ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) 2016-06

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2020年3月10日)

(作成対象期間 2019年9月11日~2020年3月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/債券	
信託期間	約5年3カ月間(2016年6月20日~2021年9月10日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06の受益証券
	ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3611>
<3612>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	公社債 組入比率	債券 先物比率	元残 存率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設 定 (2016年 6月20日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2016年 9月12日)	9,989	30	19	0.2	0.8	91.7	—	98.9
2 期末 (2017年 3月10日)	9,576	40	△ 373	△ 3.7	△ 4.9	94.7	—	98.9
3 期末 (2017年 9月11日)	9,818	20	262	2.7	△ 0.7	92.8	—	98.9
4 期末 (2018年 3月12日)	9,527	5	△ 286	△ 2.9	△ 2.2	92.2	—	95.3
5 期末 (2018年 9月10日)	9,460	5	△ 62	△ 0.7	△ 2.0	98.4	—	84.6
6 期末 (2019年 3月11日)	9,526	5	71	0.8	△ 1.4	96.6	—	71.2
7 期末 (2019年 9月10日)	9,704	5	183	1.9	△ 0.6	95.3	—	71.2
8 期末 (2020年 3月10日)	9,801	5	102	1.1	△ 0.2	89.2	—	60.5

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

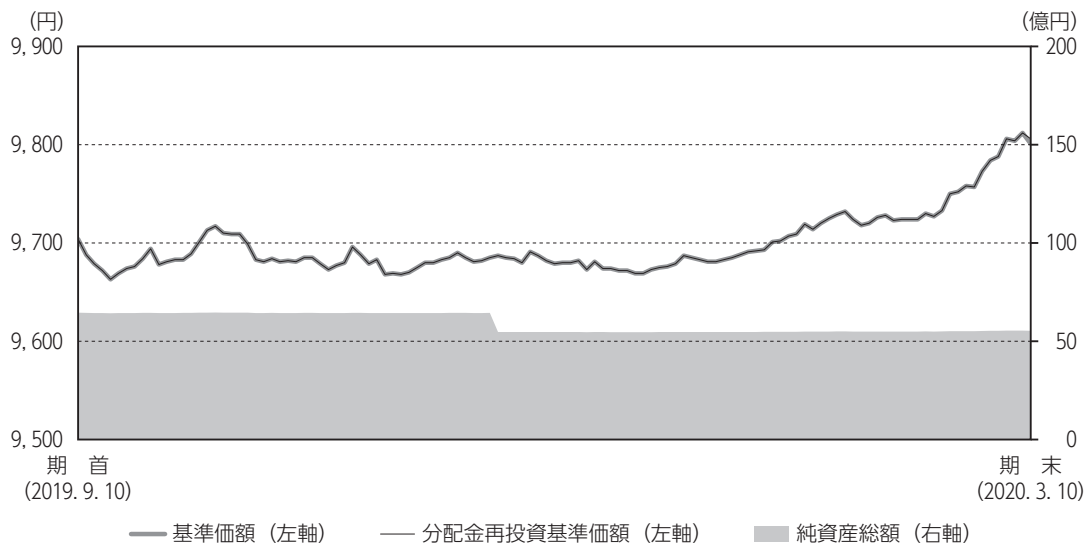
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,704円

期末：9,801円（分配金 5円）

騰落率：1.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付日本企業外債ファンド（為替ヘッジあり）2016-06

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 先 物 比 券 率
		騰 落 率			
(期首) 2019年 9月10日	円	9,704	—	95.3	—
9 月末		9,683	△ 0.2	97.9	—
10月末		9,680	△ 0.2	98.8	—
11月末		9,685	△ 0.2	97.2	—
12月末		9,679	△ 0.3	97.4	—
2020年 1 月末		9,725	0.2	93.6	—
2 月末		9,757	0.5	94.4	—
(期末) 2020年 3月10日		9,806	1.1	89.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

■米国債券市況

米国債券市場では、金利は低下しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、国債金利は上昇傾向となりました。2020年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから国債金利の低下圧力は強まりました。また、当作成期中に、FRB（米国連邦準備制度理事会）は計3回、計1.00%ポイントの利下げを実施しました。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことを背景に、当作成期末にかけてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大したものの、金利が低下した銘柄が多くみられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は5円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が57,924,197円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益57,924,197円（1万口当り102.52円）を分配対象額として、うち2,825,000円（1万口当り5円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 11～2020. 3. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0. 273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 699円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0. 095)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0. 283	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

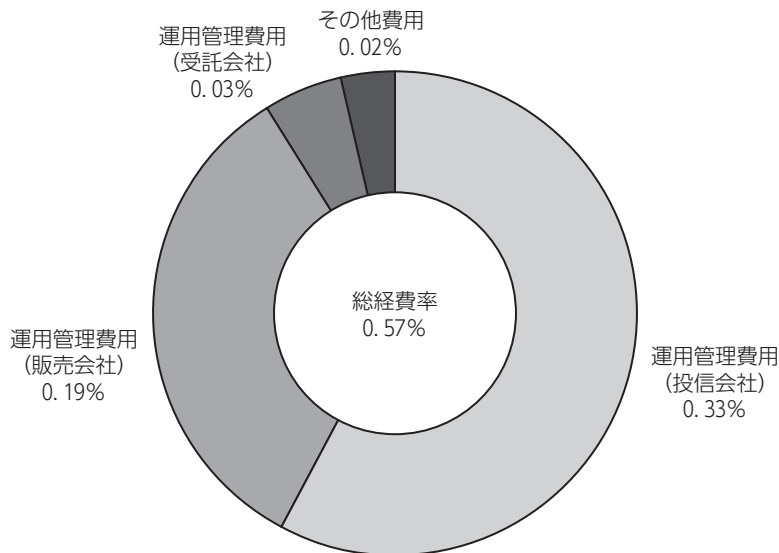
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付 日本企業外債 マザーファンド2016-06	106,999	120,000	1,121,987	1,257,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06	5,880,144	4,865,156	5,271,397

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06	5,271,397	94.9
コール・ローン等、その他	284,058	5.1
投資信託財産総額	5,555,455	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.28円です。

(注3) ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06において、当期末における外貨建純資産(5,043,211千円)の投資信託財産総額(5,321,776千円)に対する比率は、94.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,489,778,320円
コール・ローン等	84,984,634
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06 (評価額)	5,271,397,230
未収入金	5,133,396,456
(B) 負債	4,952,359,228
未払金	4,934,322,400
未払収益分配金	2,825,000
未払信託報酬	14,969,898
その他未払費用	241,930
(C) 純資産総額 (A - B)	5,537,419,092
元本	5,650,000,000
次期繰越損益金	△ 112,580,908
(D) 受益権総口数	5,650,000,000口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,801円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,801円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は112,580,908円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 17,917円
受取利息	337
支払利息	△ 18,254
(B) 有価証券売買損益	239,780,035
売買益	368,250,641
売買損	△ 128,470,606
(C) 有価証券評価差損益	△ 168,019,783
(D) 信託報酬等	△ 16,341,899
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	55,400,436
(F) 前期繰越損益金	△ 196,656,344
(G) 解約差損益金	31,500,000
(H) 合計 (E + F + G)	△ 109,755,908
(I) 収益分配金	△ 2,825,000
次期繰越損益金 (H + I)	△ 112,580,908

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	5 円

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	公社債 組入比率	債券 先物比率	元本 残存率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定(2016年6月20日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末(2016年9月12日)	9,822	30	△ 148	△ 1.5	△ 6.4	91.6	—	100.0
2期末(2017年3月10日)	10,600	70	848	8.6	9.7	96.1	—	100.0
3期末(2017年9月11日)	10,290	70	△ 240	△ 2.3	3.7	93.5	—	100.0
4期末(2018年3月12日)	9,849	70	△ 371	△ 3.6	0.5	92.3	—	100.0
5期末(2018年9月10日)	10,206	70	427	4.3	2.3	97.9	—	100.0
6期末(2019年3月11日)	10,362	70	226	2.2	2.7	97.5	—	100.0
7期末(2019年9月10日)	10,307	70	15	0.1	2.3	94.9	—	100.0
8期末(2020年3月10日)	10,089	70	△ 148	△ 1.4	1.6	93.2	—	100.0

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

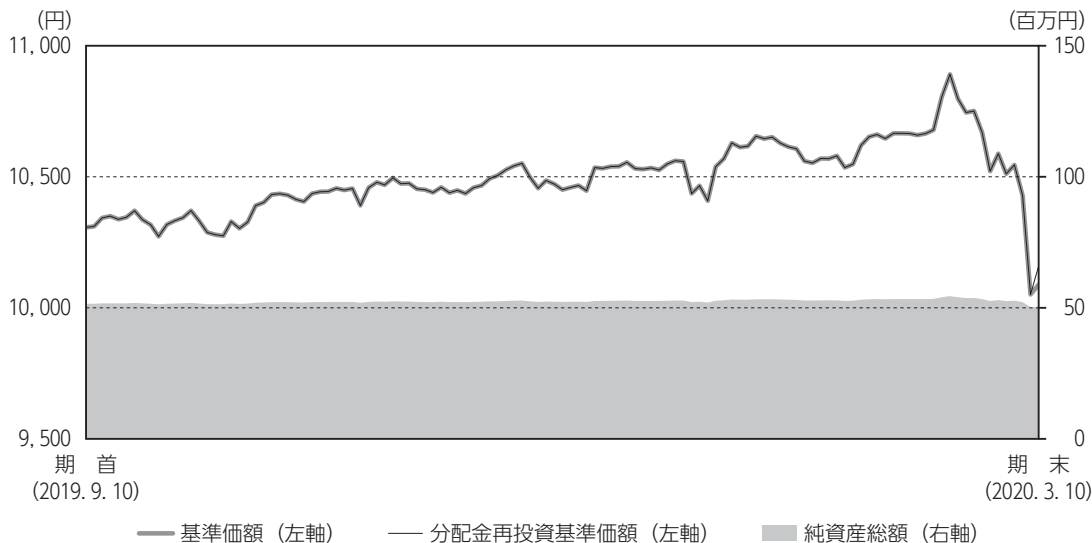
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,307円

期末：10,089円（分配金70円）

騰落率：△1.4%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）はプラス要因となりましたが、円高米ドル安を反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付日本企業外債ファンド（為替ヘッジなし）2016-06

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 先 物 比 券 率
		騰 落 率			
(期首) 2019年 9月10日	円	10,307	— %	94.9 %	— %
9 月末		10,344	0.4	97.7	—
10月末		10,455	1.4	98.3	—
11月末		10,541	2.3	97.0	—
12月末		10,558	2.4	96.9	—
2020年 1 月末		10,580	2.6	94.1	—
2 月末		10,668	3.5	95.8	—
(期末) 2020年 3月10日		10,159	△ 1.4	93.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

■米国債券市況

米国債券市場では、金利は低下しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、国債金利は上昇傾向となりました。2020年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから国債金利の低下圧力は強まりました。また、当作成期中に、FRB（米国連邦準備制度理事会）は計3回、計1.00%ポイントの利下げを実施しました。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことを背景に、当作成期末にかけてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大したものの、金利が低下した銘柄が多くみられました。

■為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首より、米中通商協議への懸念が和らいだことや英国のEU（欧州連合）離脱期限が延長されたことから投資家心理が改善し、米ドル円は上昇しました。2020年2月以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから、世界経済への懸念とともに投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れました。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は70円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額793,555円が、経費控除後の配当等収益558,991円を超過しているため、純資産額の元本超過額793,555円（1万口当り158.71円）を分配対象額として、うち350,000円（1万口当り70円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 11～2020. 3. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0. 273%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 493円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0. 095)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	30	0. 283	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

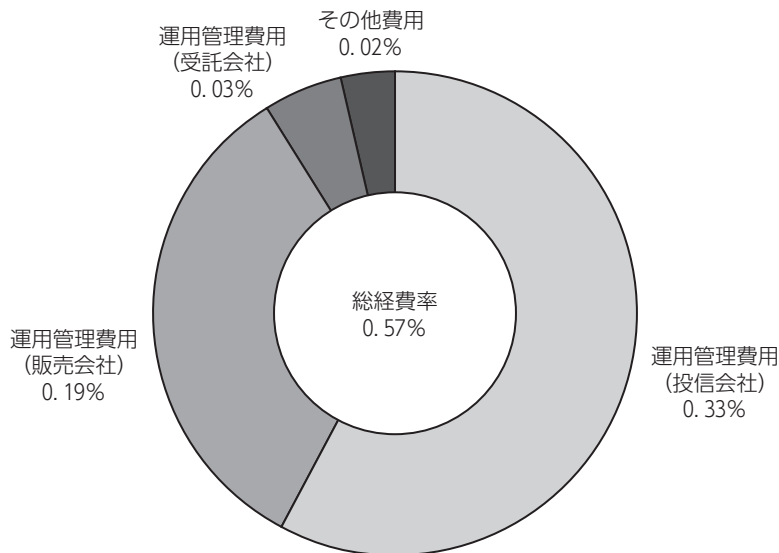
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付 日本企業外債 マザーファンド2016-06	—	—	444	500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06	46,738	46,293	50,159	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06	50,159	98.5
コール・ローン等、その他	779	1.5
投資信託財産総額	50,938	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.28円です。

(注3) ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06において、当期末における外貨建純資産(5,043,211千円)の投資信託財産総額(5,321,776千円)に対する比率は、94.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	50,938,839円
コール・ローン等	779,382
ダイワ高格付日本企業外債 マザーファンド2016-06 (評価額)	50,159,457
(B) 負債	495,284
未払収益分配金	350,000
未払信託報酬	143,255
その他未払費用	2,029
(C) 純資産総額 (A - B)	50,443,555
元本	50,000,000
次期繰越損益金	443,555
(D) 受益権総口数	50,000,000口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,089円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,089円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1円
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	55,595
売買益	55,595
(C) 有価証券評価差損益	△ 654,054
(D) 信託報酬等	△ 145,284
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 743,744
(F) 前期繰越損益金	1,537,299
(G) 合計 (E + F)	793,555
(H) 収益分配金	△ 350,000
次期繰越損益金 (G + H)	443,555

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	70円

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

運用報告書 第8期 (決算日 2020年3月10日)

(作成対象期間 2019年9月11日～2020年3月10日)

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

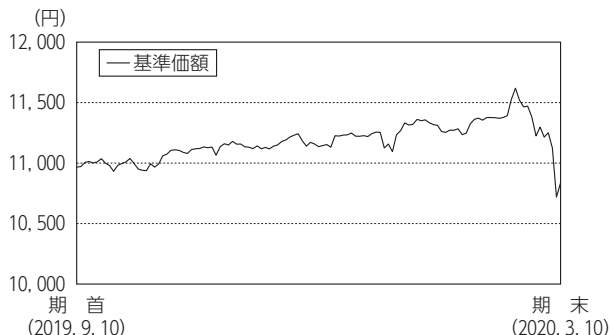
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	%		
(期首) 2019年 9月10日	10,967	—	95.4	—
9月末	11,009	0.4	98.2	—
10月末	11,133	1.5	98.7	—
11月末	11,230	2.4	97.4	—
12月末	11,254	2.6	97.3	—
2020年 1月末	11,283	2.9	94.4	—
2月末	11,382	3.8	96.1	—
(期末) 2020年 3月10日	10,835	△ 1.2	93.7	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,967円 期末：10,835円 騰落率：△1.2%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下(債券価格の上昇)はプラス要因となったものの、円高米ドル安を反映し、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○米国債券市場

米国債券市場では、金利は低下しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU(欧州連合)離脱交渉の進展期待が高まる中で、国債金利は上昇傾向となりました。2020年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから国債金利の低下圧力は強まりました。また、当作成期中に、FRB(米国連邦準備制度理事会)は計3回、計1.00%ポイントの利下げを実施しました。

米ドル建ての社債については、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことを背景に、当作成期末にかけてスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が拡大したものの、金利が低下した銘柄が多くみられました。

○為替相場

米ドルは対円而下落(円高)しました。

当作成期首より、米中通商協議への懸念が和らいだことや英国のEU(欧州連合)離脱期限が延長されたことから投資家心理が改善し、米ドル円は上昇しました。2020年2月以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に広まったことから、世界経済への懸念とともに投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

外 国	アメリカ	買付額 千アメリカ・ドル	売付額 千アメリカ・ドル
		—	1,000 (—)
		—	2,114 (4,000)
		10,788	16,414 (1,700)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Sumitomo Corp (日本) 2.5% 2022/9/13	432,223	Mizuho Financial Group Inc (日本) 3.477% 2026/4/12	359,993
Mizuho Financial Group Inc (日本) 2.73738% 2023/9/13	324,375	Nissan Motor Acceptance Corp (アメリカ) 2.55% 2021/3/8	197,909
Sumitomo Mitsui Banking Corp (日本) 3.2% 2022/7/18	225,797	JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT. (日本) 2.125% 2021/4/13	197,453
Mitsubishi Corp (日本) 2.625% 2022/7/14	185,016	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd (日本) 2.5% 2020/3/9	197,325
		Central Nippon Expressway Co Ltd (日本) 2.293% 2021/4/23	175,436
		Sumitomo Mitsui Financial Group Inc (日本) 3.784% 2026/3/9	163,777
		Toyota Motor Credit Corp (アメリカ) 2.625% 2023/1/10	156,191
		ORIX Corp (日本) 2.65% 2021/4/13	132,241
		Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The (日本) 2.85% 2021/9/8	110,975
		Tokyo Metropolitan Government (日本) 2.125% 2020/5/19	109,588

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建) 公社債(通貨別)

作 成 期	区 分	当 期			組入比率	うちBBB格以下組入比率	残存期間別組入比率			
		額 面 金 額	評 価 額	評 価 額			5年以上	2年以上	2年未満	
		外 貨 建 金 額	千円	千円	%	%	%	%	%	
	アメリカ	千アメリカ・ドル	47,000	千アメリカ・ドル	4,987,881	93.7	—	8.9	40.4	44.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額			償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル		
アメリカ	JAPAN BANK FOR INTL. COOP.	特殊債券	3.0000	1,200	1,310	135,351	2024/05/29	
	JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	特殊債券	2.1250	3,000	3,044	314,472	2021/04/13	
	Mitsubishi Corp	社 債 券	2.6250	1,700	1,746	180,372	2022/07/14	
	Chiba Bank Ltd/The	社 債 券	2.7500	2,000	2,007	207,305	2020/07/29	
	Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	2.6320	1,000	1,017	105,069	2021/04/12	
	Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	2.7373	3,000	3,009	310,868	2023/09/13	
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	2.9500	800	810	83,701	2021/03/01	
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	2.3203	3,200	3,170	327,478	2023/03/02	
	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	3.7840	3,200	3,528	364,441	2026/03/09	
	Sumitomo Corp	社 債 券	2.5000	3,600	3,698	381,958	2022/09/13	
	Seven & i Holdings Co Ltd	社 債 券	3.3500	3,400	3,513	362,866	2021/09/17	
	Toyota Industries Corp	社 債 券	3.1100	1,200	1,243	128,420	2022/03/12	
	Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.0000	1,700	1,719	177,626	2021/04/13	
	Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.8000	1,000	1,065	110,044	2026/04/13	
	ORIX Corp	社 債 券	2.6500	3,600	3,655	377,541	2021/04/13	
	Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	2.2930	2,400	2,433	251,314	2021/04/23	
	Central Nippon Expressway Co Ltd	社 債 券	2.3620	1,000	1,015	104,925	2021/05/28	
	Toyota Motor Credit Corp	社 債 券	2.6250	1,000	1,038	107,258	2023/01/10	
	Sumitomo Mitsui Banking Corp	社 債 券	3.2000	2,000	2,073	214,200	2022/07/18	
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd/The	社 債 券	2.8500	3,600	3,687	380,842	2021/09/08	
Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.6520	3,400	3,503	361,819	2022/09/19		
合 計	銘柄数	21銘柄						
	金 額			47,000	48,294	4,987,881		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ高格付日本企業外債マザーファンド2016-06

■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	4,987,881 千円	93.7 %
コール・ローン等、その他	333,895	6.3
投資信託財産総額	5,321,776	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,043,211千円)の投資信託財産総額(5,321,776千円)に対する比率は、94.8%です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	77,075,009円
受取利息	77,097,364
支払利息	△ 22,355
(B) 有価証券売買損益	△ 109,360,886
売買益	100,766,940
売買損	△ 210,127,826
(C) その他費用	△ 358,326
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 32,644,203
(E) 前期繰越損益金	616,726,109
(F) 解約差損益金	△ 186,756,109
(G) 追加信託差損益金	13,000,445
(H) 合計 (D + E + F + G)	410,326,242
次期繰越損益金 (H)	410,326,242

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,321,776,808円
コール・ローン等	293,877,452
公社債(評価額)	4,987,881,780
未収利息	39,096,663
前払費用	920,913
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	5,321,776,808
元本	4,911,450,566
次期繰越損益金	410,326,242
(D) 受益権総口数	4,911,450,566口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,835円

* 期首における元本額は6,380,572,514円、当作成期間中における追加設定元本額は106,999,555円、同解約元本額は1,576,121,503円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2016-06 4,865,156,650円、ダイワ高格付日本企業外債ファンド(為替ヘッジなし)2016-06 46,293,916円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,835円です。